



社団法人
日本サウナ協会

SAUNA

6月/275号

発行所 社団法人日本サウナ協会
〒102-0085 東京都千代田区六番町1
(番町一番館ビル2F)
東京 03(5275)1541(直)
FAX 03(5275)1543

来年4月、公益法人設立10周年！

記念行事は全国総会と併せ東京で開催検討

平成11年度第1回理事・評議員会

(社)日本サウナ協会は、法人設立から来年四月、満十周年の意義ある大きな節目を迎えることになるが、五月二十五日、東京で開催された「平成十一年度第一回理事・評議員会」で、この十周年記念行事について初めて検討され、平成十二年通常総会(全国総会)の開催と併せて、六月に東京で実施したい。このための実行委員会を設置することが承認され、計画の具体化に向けて踏み出した。

事業報告 収支予算など承認

新年度最初の役員会で、同日午後二時から東京都千代田区の「スクワール麹町」で開催された。米田会長の開会のあいさつで始まり、

述べられた。
(要旨は2面に掲載)

米田会長を議長に指名して議事に入った。

(1)平成十年度事業報告
平成十年度の事業活動状況を、組織強化、教育、事業、法規対策の各部門ごと

国際協会理事に米田会長就任 次の国際会議は2002年スイス!



国際サウナ会議の会場(ドイツ・アーヘン市)で歓談する(右から)米田会長、アーヘン市長、コンラディ・ドイツサウナ連盟会長

五月六日午後二時から、国際サウナ会議会場の第三会議室で、「国際サウナ協会理事会」が開催された。理事の改選があり米田一也会長が、国際サウナ協会理事に選任された。また、新会長にフィンラン

ドのマティ・ギウイネン氏が選任された。次に、次期国際サウナ会議開催国にスイスが選ばれ、2002年に開催すること決定した。

この後、会員会議が開かれ日本から米田会長はじめ八名

サウナの定義について議論

また、サウナの定義について議論が交わされ、再度、各国の意見を聞き調整することとなった。議論の内容を要約すると、ソフト面では、人々はなぜサウナに入るのかと言うことについて「健康と安らぎの

ために入る」、また、サウナの入り方については「温めて冷やすを繰り返す」。ハード面では、「天井部分の温度が100度、床部分が40度ぐらいで低湿度であること」などであった。

について説明された。
検討の結果、記念行事は平成十二年通常総会(全国総会)と併せて協会挙げて実施。開催時期は六月、開催地は東京とし、記念行事の内容などについては実行委員会を設置して取り組んでいくことで、承認された。

なお、厚生省より協会が社団法人設立の認可を受けたのは、平成二年(一九九〇年)四月二十七日付け。

(4)報告事項
事務局より「第十二回国際サウナ会議&欧州視察」の帰国報告/第二回業界協議会「ストッブ・ザ公営宿泊施設」の円卓会議の様

様/「サウナの日」啓蒙活動の結果/全国献血キャンペーン99の実施結果などが報告された。

国際サウナ会議&欧州視察特集
記事112・3・5・6面/関西総会、国民生活金融公庫の発足、
神奈川総会114面/東京総会、
埼玉総会115面

日本サウナ協会のホームページ
<http://www.sauna.or.jp/>

For Beautiful Human Life
Kanebo

アフタータイムを演出する、爽やかなインプレッション

芸術化産業をめざす
Kanebo
FOR PROFESSIONAL

スキッと香って残らない
極微香・残香性ゼロ
新メンズコスメチック

【ヴェクトール】

VECTEUR

全14アイテム 価格2,000~3,000円(税抜)



5品セット(例)



3品セット(例)

「純」と「澄」——
クオリティを追求した
女性用自然派高級化粧品
(全品・無着色・無香料)

Puremaje

全3タイプ 価格3,000~4,000円(税抜)

国際サウナ会議&欧州視察レポート

ヨーロッパ有数の温泉保養地視察 基本は豊かな自然の中で長期滞在型だ

▼スパ(ベルギー)
最初の視察地は、アーヘンから約五十キロの、ベルギー南東部の町で、高級温泉保養地として有名なスパを視察。この地が「温泉「スパ」の語源となったところであり、周辺の美しい森には、源泉から湧き出る温泉水の飲み場がいくつもあり、一〜三週間滞在し、毎日この温泉水を飲んで静養するのだという。温泉水の味は、鉄分を多く含み、炭酸水のようなもので、場所によって微妙に味もちがうが、好んで飲みたい味ではない。

▼バーデンバーデン(ドイツ)
第二の視察地は、アーヘンから約四百キロのバーデンバーデン市。まず全員で、地下に小さな湖があることで有名なバーテンバーデン市役所を表敬訪問し、広報担当のザイターさんから、同市についての説明を受けた。同市は、全長十三キロほどの町で、通称「黒い森」の谷間に位置し、市の政策として「モダンで伝統のある輝きのある町」をスローガンにしており、工場の誘致はしない。市の

毎日、温泉水を飲んで静養

五月五日午前八時に成田空港に集合した参加者は、VIRLUMで結団式を行い、坂本団長が「皆さん、ハードスケジュールの長旅ですが、よろしくご協力願います」とあいさつ。
十二時間のフライトの後、ドイツ・フランクフルト空港に着いた一行は、そこから一面の菜の花畑を見ながら、アウトバーンを三時間走り、アーヘン市に到着した。
アーヘン市は、ベルギーとオランダに接した国境の町。大聖堂を中心に、みどり豊かな自然とレンガ造りの美しい町並みの、小さな温泉保養地の町である。



五月六日夜八時から、各国からの参加者が招かれウェルカムパーティーが開かれた。日本の参加者も全員が出席。コンラディ大会委員長のあいさつ、次いでアーヘン市長のあいさつなどが行われ、各国の言葉が飛び交うなか国際交流を楽しんだ。



写真上はウェルカムパーティー参加の日本の参加者たち。回下は米田会長(右)からコンラディ・ドイツサウナ連盟会長に浮世絵「女風呂喧嘩の図」を贈る。

心には「光りの谷間の並木道」と呼ばれる散歩道が三キロほどあり、美しい公園を残すために、車が見えないように、莫大な資金を投じて四千五百台の駐車場を公園の地下に造り、山あいには民家を建てき

せないよう規制し、美しい景観を保っている。また、以前は国道が市の中心を通って、黒い森に出かけるドライブ族で空気が汚れたが、ミシャイルトンネルという山あいを突き抜けた国道を

造り、現在は美しい街にふみかえった。つい最近、世界で四番目に大きいオペラハウスが完成し、より多くのお客様に喜ばれているとのこと。ただ、以前は三〜五週間の滞在であったが、現在は二週

▼シュヴァアーベンクヴェーレン(ドイツ)
三番目の視察先は、バーデンバーデンから約百五十キロほどの工業都市で、ダイヤモンドの本社があることでも有名なシュットトガルト市の中心に造られた、シュヴァアーベン

クヴェーレンである。開店前に一時間ほど、支配人のクラウディア・ホフマンさんに、施設内を歩きながら細かい説明を受けることができた。この店は、一九九四年に造られた施設だが、二年前、客が

向こうの先生方は熱心に研究

〈理事・評議員会での挨拶の要旨〉

会長 米田一也

先だって、五月五日から国際サウナ会議に、十七名の会員の皆様方と一緒に参りました。
国際会議の行われたドイツのアーヘンは、ドイツのいちばん西の端にあり、オランダとベルギーの境にある保養地というか、人口二十七万人ほどの、ドイツでは結構な街です。ちなみに、世界に知られるフランクフルトでも人口七十万人ちよつとですから…。
このアーヘンは、実に美しい街で、昔のドイツの良さが残っており、中心部の町並み保存が完璧にできている場所、あそこが一番ではないかと思えます。私は何度もドイツへ行きましたが、アーヘン

の理事で、現在はドイツのサウナマイスターの総責任者をされていますが、実は、サウナ健康士、サウナ施設管理士の教科書づくりに際して、サウナマイスターの教科書を参考にさせてもらったという経緯があります。「日本でもここ五、六年前から盛んにやらせてもらっています。千人を超える健康士と二百五十人の施設管理士ができました」という話をしますと、本当に驚かれ、また喜ばれて、「それだったら、私をいちど日本に招待してください」という話がありました。

(全国総会に)間に合わないが、来年がちょうど協会の法人設立十周年に講演者として来ていただき、「マイスターの本質」というものについて、お話しをしていただければと思います。まだ皆様の承認を得ておりませんが、私の気持ちの中では、ぜひお呼びできればと思っております。

国際会議でもうひとつ印象に残ったことは、出席者のほとんどが学者や医者といった先生方で、われわれのようにサウナを直接営業しているのは少数ない。ところが会員会議のときに、「まだそんなこと

盛大にウェルカムパーティー



第12回国際サウナ会議 記念バッジ

今大会のシンボルマーク、手おけでサウナストーンに水をかけ、発生した口ウリュを壁にして表したデザイン。バッジはヨコ1.5×タテ2.5cmの金属製

アクアテルメの決定判!

古代ローマ時代、カラカラ帝が湯浴みに来たことから名付けられた大浴場「カラカラテルメ」は、毎日千五百人ほどの入場があり、プールは水着を着用するが、サウナは男女混浴となっている。また、サウナ・温泉遊泳槽、冷水浴槽・マッサージ室など十六の部屋を矢印に沿って移動するフリードリッヒ浴場は、毎日四百人の入場者があり、うちローマ風呂に二百人、セラピー治療者が二百人で、年間七万人ほどのことである。

滞りが土・日、街のブティックはすべて閉まっており、一部の飲食店のみが開いている。日本では、稼働時に店を閉めるなんて考えられないことだが、休むときは休むというドイツ人の国民性を見ることができ、美しい街を行政と市民が一体となり、誇りを持って維持していることの素晴らしいと感じた。ただし、市の財政は非常に厳しい状態、現在は民間のカジノも二年後には公営化することである。

クヴェーレンである。

シューヴァーベン クヴェーレンの施設



- ①更衣室 ②浴室入口 ③海水風呂(塩水)
- ④ソラリウム(日焼け) ⑤真水の桶風呂
- ⑥白樺サウナ ⑦オスマン式蒸気風呂
- ⑧マヤの神殿(氷雪部屋)
- ⑨日のあるテラス(草原の長椅子)
- ⑩ホットワールドプール ⑪屋外サウナ
- ⑫海水プール(シューヴァーベンの泉)

- ⑬カリダリウム(蒸気+アロマ吸入)
- ⑭ラコニウム(ローマ風温熱室)
- ⑮クナイフ式プール ⑯花の洞窟(蒸気)
- ⑰テヒダリウム(温熱室)
- ⑱ハمام(トルコ) ⑲オリエント風休憩室
- ⑳レストラン ㉑リラックス・美容相談
- ㉒薬草浴サウナ ㉓ユーカリサウナ

サウナストーブの脇にかけた
タオルに火が移りサウナ室が
延焼、さらにドーム屋根に引
火して大きな被害をもたら
し、五か月ほど閉店して修復
したとのこと。

アクアテルメの決定版と言
われるほど、約六千平方メートル
の中に、各種のサウナ、スチーム
バス、渦巻きプール、日焼けル
ーム、雪が積もっている冷凍
ルームなどがあり、このほか
小さな浴槽がラグーンのように
ちりばめられている。
来店のお客様は三十〜四十歳
代が多く、男六五%、女三五%

で、一日の入店者数は九百
ほど。
屋外の、フィンランド産百
年もの大木で造った、一番
広いサウナ室では、一時間に
一回、十分間のロウリュタイ
ムがあり、サウナマイスター
が大きなタオルを振り回した
り、あおいだりして、大きな拍
手を受けていた。
このロウリュは薄く削つ
た氷を、ストーブで熱せられ
た岩の上に、ひしゃくで置く



シューヴァーベン クヴェーレンの一番広いサウナ室(約50人が利用できる)の入口に集まって



ビニール袋で体を包み、中に温泉から出る炭酸ガスを注入して治療する

▼フランクスコピラズニエ(チェコ)
四番目の視察先は、シュツトットガルトから約四百キロを走り、国境を越えチェコ共

和国に。同国はEUに加盟していない。ビザが不要になつたとはいえ、国境での検問は厳しく、約一時間を費やしてやっと入国許可が下りた。

はじめに着いた町は、フランクスコピラズニエという、みどり豊かな田舎町の温泉保養地である。夜遅く着いたこともあり、まさに人っ子一人

温泉に含まれる炭酸ガスで治療

もので、少々変わった。たぶん、岩の上ですべて蒸気に変えるための、アイデアではないかと思われる。参考に施

設全般の配置図を添付するが、参考になるものが、多く見受けられた。
時間があれば、香りのアロ

マヤエステ、マッサージなどを受けたかったが、入浴みの視察となったのは残念だった。

五月七日は各国代表の講演が行われ、二つのホールに分かれて分科会方式で開催され



「日本の温浴文化」 米田会長が日本代表で講演

た。日本は、フィンランド、スイスの代表とともに午後三時四十分から順次発表。米田会長が「日本の温浴文化1400年のあゆみ」の演題で、ドイツ在住の西川力氏のドイツ語通訳により、日本古来の風習「八瀬のかまぶろ」、仏教伝来

にともなう温浴のはじまり、また、風呂の文化を浮世絵などにより、歴史を追って七十六枚のスライドで説明、ヨーロッパからの参加者から盛んな拍手を受けた。
スライドを用いて講演する米田会長



治療用の浴槽の説明を受ける

▼おわりに
以上、ヨーロッパ有数の温泉保養地を視察したが、日本とちがいが、湯ふねに入るのではなく、どの場所も、基本的にはみどり豊かな自然の中で長期滞在し、温泉水を飲みながら、医師の指示などを得て静かに滞在、静養するものであ

健康をキーワードに見つめ直す時期

日本の温泉地も、宴会中心のドンチャン騒ぎの場ではなく、原点に返って、健康をキーワードに見つめ直す時期ではないかと実感した次第である。しかし、さすがにドイツとチェコで飲んだビールは、格別に美味だった。

このほか、宿便を取り除く
最終日は、ヨーロッパでも最も美しい国の一つとされるチェコの首都プラハの町を歩き、ボヘミア、モラヴィア、シレシアという歴史上の国々の伝統と文化にふれることができた。

二か所の治療と静養施設を視察したが、特徴は温泉に含まれる炭酸ガスを利用した治療で、ビニール袋で身体を包み、その中に炭酸ガスを注入し、皮膚から吸収させ、血液循環を促進させることで、消化器系や腎臓、肝臓、関節の病気などに効果があるのだという。

驚きなのは、インペリアルホテルの客室(ベッド数三二八)の稼働率が九〇%と高いこと、お客の大半がドイツ人で、最近ではロシア人の一部の金持ちの利用が増えているとのこと。

顧客開発 教育研修など推進

インターネット・ホームページの開設

関西サウナ協会は、五月十八日午後三時～同四時すぎまで「平成十一年度定例総会」を、この後「大阪府サウナ防犯協議会会務報告」を有馬グランドホテル(神戸市北区有馬町)で開催。

同協会の総会は、岩本副

会長の開会の辞が始まり、辻野会長があいさつ。次いで指協会(賛助会員) 柳賀会長があいさつ。続いて協会本部の佐久間専務理事があいさつし、本部各事業部の平成十一年度重点方針などを説明、全国総会開催の準備を進める関西協会を

画案 ⑤同収支予算案 ⑥その他。 ⑤ 順次審議され、いずれも原案どおり、満場一致で承認された。

新年度事業計画は――

- ▼組織強化
- ▼顧客開発

「サウナの日」活動の継続/サウナの日献血キャンペーンの実施/地域イベントへの積極参加/関西協会のインターネットホームページの開設。



有馬温泉で開催された関西総会

関西・平成11年度総会



辻野会長

予防医学的な健康産業に脱皮

あるとき、故中野会長が私に、「健康があつてすべてか」と言われたことがありますが、全くそのとおりだと思います。

新世紀に向かって、私たちサウナ業は、さらに人々の健康維持・増進のお役に立つ。また、予防医学的な健康産業として脱皮していくことが必要ではないかと考えております。

会員、賛助会員の皆様方と協力し合つて、この危機を乗り越えようではありませんか。

国民生活金融公庫10月1日発足 利用者の声により反映されやすくなる

国民金融公庫と環境衛生金融公庫を統合した「国民生活金融公庫」が、今年十月一日に発足する。五月二十一日午前の衆議院本会議で統合のための「国民金融公庫法の一部を改正する法律」が可決、成立した。統合は、平成九年九月に閣議決定した特殊法人等の整理・合理化方針に基づいたものであり、今通常国会に同

国民生活金融公庫は、両機関の目的を承継し、独立して継続可能な事業について当該事業の経営の安定を図るための資金、環境衛生関係の営業について衛生水準を高めるための資金その他の資金であつて、一般の金融機関からそ

の融資を受けることを困難とする国民大衆が必要とするものを供給することを目的としている。

両機関の統合により、利用者にとっては、国民金融公庫の全国百五十二の店舗網が環境衛生の直接扱いの店舗網となることから、従前、環境衛生金融公庫から国民金融公庫に對する委託範囲とされてい

大阪府サウナ防犯協議会会務報告

今年の活動方針決まる

関西協会の総会終了後、同じ場所午後四時十五分から「大阪府サウナ防犯協議会会務報告」が行われた。今年の活動計画の主なものは――

- ▼教育研修・情報交換
- ▼資格制度受講による従業員資質向上/営業第一線幹部研修会の開催/健康関連産業理念の向上を図る経営者セミナーの開催/健康関連産業との交流と情報交換/国内外の研修ツアーの

インターネット・ホームページの開設。

当者の研修会の実施/防犯に関する情報交換/府警本部が発信する防犯情報の各会員へのFAX通信/府警本部、所轄警察、関係官庁との連携強化など。

正に伴う要望事項

- ▼水道料金を公衆浴場並の料金への折衝活動/償却率の適正化/公衆浴場、特殊浴場呼称分類改正の推進。
- ―などを重点方針に掲げ活発な活動と推進を図る。

新会員紹介

次の店舗が社団法人日本サウナ協会に加盟されました。よろしくお願ひ致します。

- 沖縄県支部会員(平成11年6月2日付け)
- ▽会社名 株式会社 大文閣
- ▽代表者 大見謝 文子
- ▽店名 大文閣
- ▽所在地 沖縄県那覇市松山1-15-1
- 電話 098(868) 4777

懇親会で歓談・交流

総会を終わり、午後六時から懇親会が開催された。それまでの自由時間は、各人それぞれホテル九階の展望大浴苑「雲海」で有馬の

名湯につかり一日の疲れをほぐした。懇親会には会員と賛助会員を合わせて五十社、総勢五十七人が出席、歓談と情報交流、歌謡ショー、カラオケへと大いに盛り上がった。また翌朝はゴルフコンペで腕を競った。

事業計画・予算など承認 新緑のなか恒例のゴルフコンペ

神奈川サウナ協会の「平成十一年度総会」が、五月二十六日に開催された。総会に先立ち、恒例のゴルフコンペが「平塚富士見カントリークラブ」で開催された。プライベートハンデ制を採用してから、十回目となるコンペは、過去最多の五組でスタートした。前日は小雨まじりだったが当日は好天で、鮮やかな新緑の中、熱戦が繰り広げられた。

神奈川・平成11年度総会



写真上は新緑に包まれてゴルフコンペ。 同下は総会の議事は円滑に進む

優勝者は、織茂会長。四か月前のコンペから、スコアを23も縮めたネット7アンダーに、「大改装前なのに、本当に準備でいそがしかったのだから」と疑問の声が上がっていた。準備は、当日の総会会場を提供してくださった三蔵商事の岡村篤秀さんが2アンダー、第3位に、いつもハンデ0で頑張っている(株)エステイワイの鈴木朝夫さんが3オ

優勝者は、織茂会長。四か月前のコンペから、スコアを23も縮めたネット7アンダーに、「大改装前なのに、本当に準備でいそがしかったのだから」と疑問の声が上がっていた。準備は、当日の総会会場を提供してくださった三蔵商事の岡村篤秀さんが2アンダー、第3位に、いつもハンデ0で頑張っている(株)エステイワイの鈴木朝夫さんが3オ

体験入浴の後、織茂会長のあいさつで始まった総会は、新入会員の相武台サウナ後藤襲実さんの紹介、本部・若林事務局長の欧州視察報告(当県協会からはスパックスエンタープライズ(株)の入江さんが参加した)等の報告、事業報告・計画、予算・決算の承認と、円滑に終了した。

懇親会で交流

賛助会員のピーアールタイムの後、懇親会となった。(株)三蔵商事のご厚意の豪華料理で、盛会のうちに終了した。次回は、温泉を掘り出し、大改装した、平塚の(株)加川商事「グリーンサウナ」で、七月に第一回幹部研修会を開催する予定。

第12回 国際サウナ会議 & 欧州視察レポート

同視察団(平成11年5月5日~14日)に参加された方から、その貴重な体験や所感をまとめたレポートをいただいた。その中からいくつか紹介します。

フランクフルトまでの十二時間は、ヨーロッパの見知らぬ土地に夢をはせながら、機内でドイツビール、ワインを二、三杯ずつ飲み、ほとんど疲れなく到着。まず驚いたことは、国際空港内にアダルトショップがあったことで、日本との価値観の違いを感じると同時に、内心ワクワクとした気持ちになり、時差の疲れもなく一気にアーヘンへ。ドイツの季節料理「シュニッペルゲル」(白い特大アスパラガス)に舌づつみをしつつ一夜を過ごし、旅ははじまりでした。

ドイツはアウトバーン(高速道路)が発達し、無料であることから、ほとんどの輸送手段は、これを利用するとのこと。温浴施設の見学では、ベルギーの「スパ」での湧き出る温泉水が硬水で、ガスが入って



バーデンバーデン市役所の会議室で説明を受ける

チェコでは、フランチスコピラズニエという田舎町での宿泊は貧弱で若干驚かされたが美しい公園の中に湯飲み場という湯泉水を、朝一番に宮田氏が飲み、おいしかった味が忘

5月8日、バーデンバーデン市役所を敬訪問、広報担当ザイター氏から市の政策・都市計画について説明を受ける。市の基本政策は「モダンと伝統、輝きのある街」で、工場は誘致しない。市の中心は、光の谷間の並木道と呼ばれる遊歩道が3kmあり、美しい公園・自然環境の維持のため、車が見えないよう駐車場を公園

や施設の地下に四千五百台分つくり、山あいに民家を建てさせない等の規制で美しい景観を保っている。また、以前は市の中心を国道が通っていたが、それを迂回させて環境回復に努め、現在の美しい街並を実現し、市の将来を文化的な美しい温泉保養地と位置付けている。

入場者数は一日九百人、男女比は六五対三五、年齢層は三十五歳平均である。(6面へつづく)

男女混浴のサウナ等に驚く

西部ガス興商(福岡) 福田陽介

とで、今回の旅の大半もバスでの移動で、移動中のバスでの景色の素晴らしさ、どこまで行っても住居と自然が調和して一体となっている。日本の農村も良いのですが、ここでは住居の形状、色彩があるていど自然にマッチしており、牧場、田畑が整然とし、電線と広告看板がほとんど見えないので、環境に対する配慮は並々ならぬものを感じ、街全体が公園のような感じ。ただ、ドイツ人の生活は全体に質素で、年に一、二度の長期休暇を取ることを楽しみに仕事を休んでいるとのことでした。

のサウナ等には驚かされたが、町全体が健康ランドでもう一度家族でゆっくり視察したい場所である。シュトゥットガルトのシュヴァンクヴェーレンでは、サウナ、スチームバス、プール、冷凍ルーム等、一施設の中にこれほどまでのリラククススペースがあること自体が驚きの連続で、日本のサウナとの比較で大いに参考になると思われました。

の美しさと、世界遺産となっているプラハ市街の美しさは感動の連続でした。ドイツに比べてあか抜けはしていませんが、物価の安さとビールのおいしさ以上に、夜のチェコも忘れられない一夜となりました。最後は、チェコのプラハ城

発想での温泉保養地として進化しているが、バーデンバーデンと似ている。人が保養を目的に場所を選ぶ基本は、やはり文化的で静かな美しい自然環境にあると思えました。5月10日、シュトゥットガルトで施設見学、体験。

四年前に開業し、市の中心に位置するシュヴァンクヴェーレンで開店前二時間、ホフマン支配人から説明を受けた。ここはアクアテルメの決定版といわれ、広さは約六千平方、十か所の各種サウナ、スチームバス、温水・冷水プール、日焼けマシン、エステ室、雪が積もっている冷凍ルーム、さらに小さな浴槽がラグーン状にちりばめられている。こういう施設は、世界でもここだけのこと。

要請あれば来年の 法人10周年・全国総会は東京で対応

東京都サウナ協会の「平成十一年度通常総会」が六月九日午後五時からシテイリゾート・ネブリス(渋谷区)で開催され、四十二名が参加した。

総会開催に当たり松村副会長の開会の辞、許斐建樹会長のあいさつがあり、会長はとくに「五月二十五日の本部理事・評議員会で、来年は社団法人認可十周年記念に当たり、平成十二年度全国総会は、この記念行事を併せて東京で開催したいという意向が示された。東京都協会としては、正式

東京都・平成11年度総会



写真上は総会での許斐会長のあいさつ。同下は歓談がつづく懇親会

に要請があれば、これを受けるつもりですが、そのときは皆さんのご協力をお願いします」と述べられた。

次いで本部・佐久間専務理事より協会の事業展開の説明とあいさつがあった。許斐会長を議長として議事に入り、平成十一年度事業報告、決算報告、監査報告が満場一致で承認された。役員改選として、東京ドームの人事異動による長谷川

隆氏の新任専務理事、市都サウナの閉店による柏木常任理事の辞任があり、ほかは留任とする役員改選案が提案され、承認された。続いて、平成十一年度事業計画案並びに収支予算案が提案され、承認された。新規入会、賛助会員の紹介があり、橋本副会長の閉会のあいさつをもって平成十一年度の総会が無事終了した。

総会終了後、同会場で大野副会長の乾杯の音頭で懇親会が開催された。和やかな雰囲気なかで歓談が続き、前田副会長の中締めで午後七時三十分を終了したが、その後は、十時過ぎまで会場内のサウナやプールでくつろぎ、それぞれ自由解散となった。

任期を迎えた役員改正については、引き続き現体制を維持していくこととし、新理事に嵐山溪谷健康セン

ター平成楼の井上広一氏の就任が承認された。国際サウナ会議に出席した本部・若林事務局局長の欧州視察報告等があり、この後、前回の例会で実施が承認された海外視察研修について、森林舎・宮田氏のコーディネートで九月七日(十日)にかけて台湾(台中・台北)の温泉施設を視察、マッサージやアカスリなどの視察体験をする案で、ほぼ決定した。今後、企画内容を定める。総会出席者の中でさっそく八名の参加希望があった。

埼玉・平成11年度総会 9月に海外研修を決定

平成十一年度埼玉県サウナ協会総会が、六月二日、あけぼの健康ランド(岩槻市)で開催された。大角事務局長の司会で進められ、まず阿戸健次会長から「大変な時代ですが、皆さん頑張りましょう」と開会あいさつ。同氏を議長に選任し平成十一年度事業、決算の報告があり、中野監事からの監査報告、続いて説明された平成十一年度事業計画、予算案もあわせて満場一致で承認された。



阿戸会長のあいさつ(中央)

を維持していきのこととし、新理事に嵐山溪谷健康セン

タリ平成楼の井上広一氏の就任が承認された。国際サウナ会議に出席した本部・若林事務局局長の欧州視察報告等があり、この後、前回の例会で実施が承認された海外視察研修について、森林舎・宮田氏のコーディネートで九月七日(十日)にかけて台湾(台中・台北)の温泉施設を視察、マッサージやアカスリなどの視察体験をする案で、ほぼ決定した。今後、企画内容を定める。総会出席者の中でさっそく八名の参加希望があった。

(5面よりつづく)

屋外のフィンランド産の大木で作られた一番大きなサウナでは、一時間に一回、約十分ほどのロウリュウタイムがあり、サウナマイスターが大きなタオルを振り回したり、あ

おいだりの見事な演出で、お客から大きな拍手を受けていた。さすがに本場、非常に参考になるアイデアをいただきたい。

温泉施設のデイズニー版!

森下仁丹(株) 長友和幸

5月8日、アーヘンから40kmのバーデンバーデンへバスで移動。「カラカラテルメ」を視察。

もともと古代ローマ時代、カラカラ帝が湯浴みに来たことになんで命名され、1985年、千平方メートルの水面をもつ温水プールと、約十室の様々なサロンの施設ができた。サウナに入るためには二階のサウナゾーンの入口で水着を全部脱がなければならぬ。勇気(?)を出して行ってみると、全裸の男女がサウナに、休憩ベンチにウヨウヨいるではないか。(あまりオープンにされるとかえって興奮だ。この光景の詳しい描写は割愛させていただきます)。

5月10日、バーデンバーデンから約10kmのシュットガルトへ。ここはベントの本社のある町。この街にある「スクワーベクオーレン」という温泉施設

炭酸ガスを利用したもので、ビニール袋で体を包み、高圧の炭酸ガスを注入して皮膚から吸収させ、血液循環を促進させることで、消化器系や関節痛などに効くという。

この治療施設には付属のホテル(ベッド数三百十八)があり、ここ数年九〇%以上の稼働率で推移しているとのこと。お客の大半はドイツ人で最近ではロシア人が急増しているという。

以上、ドイツ、ベルギー、チェコの温泉保養地を視察したが、日本との違いは、湯ふねにじっと浸かるところは、ほと

んど見られず、いずれも基本的に、長期滞在(平均二〜三週間)し、温泉水(主に炭酸を含み鉄が多い)を飲みながら、時に温泉プールで運動しながら静養・治療を行うものだった。

日本の温泉地は、長期不況の影響もあり、熱海、湯河原をはじめ、ほとんどが大変な苦境下にあるが、従来の団体客・宴会中心から温泉の湯治の原点に帰った健康・静養・文化、そして豊かな自然環境をキーワードに転換していけば、再生は可能ではないかと思

混合ゾーンの温水プールに行ったら、全裸のご婦人が気持ち良さそうに悠々と泳いでいらした。

シュットガルトから約四二



「マリアの湯飲み場」の名をもち、五歳で成人扱いになり、十八歳になると親と同居しているのは、恥ずかしいことだ。ガイドのトマーシユ君も十五歳から新聞配達をして家計を助け、イギリスと日本に留学したのも親に援助を受けておらず、国の留学試験にパスして国費留学とのこと。

この施設には、一部女性専用ゾーンがあったが、ドイツ語の表示がわからず迷い込んでしまった。金髪の美しい娘さんが(残念ながらバスタオルを巻いて)サウナから出てきて、ドイツ語で何やら抗議している様子。どうやらこのゾーンは女性専用だったことを思い出し、「オオー・ミステーク・アイム・ソーリー」と言

つたら、笑って許してくれた。

温泉の概念が大きく異なる

マイケル本多(静岡) 本多秀行

今度の欧州視察で、最も驚いたことは、温泉の概念が日本と大きく異なり、温泉が健康のため、医療のために用いられ、体を浸すより飲用により、多く用いられていることでした。これは、日本の温泉と比べ水量が非常に少なく温度

もう一つは、ドイツの畑の一区画は日本に比べて十倍くらい広いが、それ以上にチェコの畑はとてつもなく広大である。これは旧共産主義の名残で、旧ソ連で言うところのソ

ホーズカコルホーズという集団農場のためであろう。話は変わって、チェコは十五歳で成人扱いになり、十八歳になると親と同居しているのは、恥ずかしいことだ。ガイドのトマーシユ君も十五歳から新聞配達をして家計を助け、イギリスと日本に留学したのも親に援助を受けておらず、国の留学試験にパスして国費留学とのこと。

彼らは現在二十四歳とのことだが、日本語も英語も達者で日本の歴史、経済、社会のこと、日本の平均的な大学生よりも詳しいのではないかと関心した。

温泉ホテルに二〜三週間滞在して療養するのは、病院に入院するような感じですが、景色の良いところで精神的に休養できることは日本も同じだと感じました。

次に驚いたことは、ドイツでの男女混浴の習慣でした。全く自然に混浴している様子は、日本でもぜひ見習うべきだと感じました。元氣な老女のお客様の多い当店から始めたいと思っております。

温泉や器具を使った治療方法もいろいろ考案されており

この街にある「ノーエテレゾン」という温泉療養施設を見学。英国のチャールズ三世の専用した風呂があり、ここから第一次大戦の指令をしたとか。近くには、やはり飲泉の場所がある。飲泉は歩き回りながらゆつくり飲むのが効果的とか。雨の日でも歩けるように、天井のある石造りの長い廊下が併設されている。

今回の旅行では、ドイツ、ベルギー、チェコの食事を体験したが、ドイツの食事は量が多いが塩辛く一番まずい。味が塩辛いためにビールをよく

温泉は主に医療的な分野に

赤井基雅

今回の視察では、まず何よりも文化生活習慣の違いに驚かされた。

第一に食事時間。一時間以上もテーブルの前に座っているなんて、ちょっと考えられない。それだけ(あちらは)心にゆとりがあり、生活リズムがゆつくりなのだろう。

第二に、自然を大切にしていることである。町を歩いていると、みどりの空気が

がきれいだという点が印象的であった。

ところで、今回の一番の目的である温泉は、日本のように湯ふねに入るのではなく、主に治療的な分野に使用されているようだが、その使用目的の違いは参考になった。

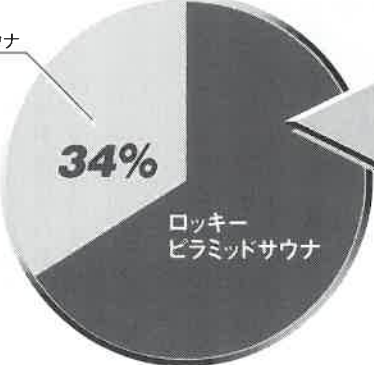
また、アロマエッセンスやマッサージも体験してみたかったが、時間がなく残念であった。

TOKYO GAS

ガスマイルドサウナ

ロッキーピラミッド™

電気式高温サウナ

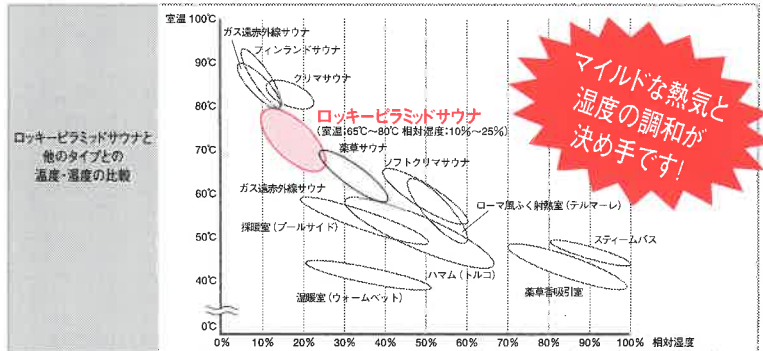


サウナファンの間で人気急上昇

66%のお客さまが「ロッキー」を支持!

1999年3月、杉並区の有名サウナ店(ロッキーピラミッドサウナと電気式高温サウナを併設)で東京ガスがアンケート調査を実施。

「ロッキーピラミッド」は、東京ガス自慢のマイルドサウナです。室内は、体にやさしい65〜80℃の中温にキープ。水打ちされたサウナストーンからはたっぷりの蒸気が立ち上がります。このマイルドな熱気と適度な湿度のハーモニーが、心地よい発汗と快適なサウナの楽しみを提供します。だから、登場以来、人気もぐんぐんアップ。多くのサウナ経営者の方々にも厚いご支持をいただいています。



マイルドな熱気と湿度の調和が決め手です!